

証券コード：9698

株式会社クレオ

第44期 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日

みなさまと共創していく、これからの未来

We want to create the future with you.



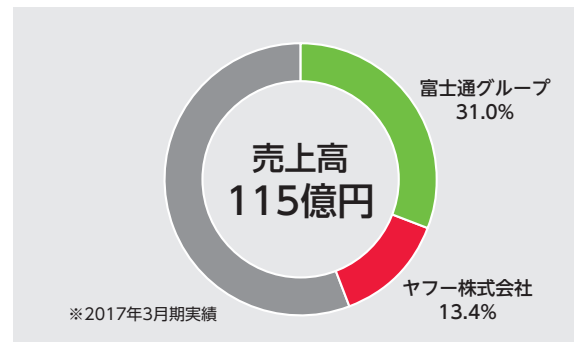
クレオグループの強み

1. 品質と信頼のシステム開発実績



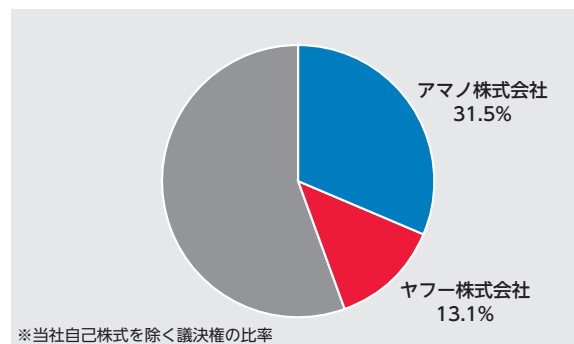
当社は官公庁向け基幹システム、ETC、人事給与・会計システム、ECサイトなど、信頼性と高い品質が求められるシステムの開発において長年の実績を持っております。

2. 大手企業からの安定的な受注



当社は富士通グループ、ヤフー株式会社など大手企業のお客さまから長年にわたり業務のご発注をいただき、安定した売上水準を維持しております。

3. 安定した株主構成



当社はアマノ株式会社、ヤフー株式会社の2社を大株主とし、2社から経営面、事業面での様々な支援を受け経営を行っております。

4. 安定した財務状況

自己資本比率
70.7%

当社は2017年3月末現在、自己資本比率70.7%、借入金ゼロと財務的に極めて安定した状態にあります。

トップメッセージ

本年4月1日より代表取締役社長に就任しました。

代表取締役社長
柿崎 淳一



100年企業に向けて

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2017年度、当社グループは成長する力・稼ぐ力の最大化を図るため事業再編を実施いたしました。新たな中期経営計画の下、グループ一丸となって価値創造力を向上させたいという願いからロゴマークの刷新も行いました。弊社は2024年に50周年を迎えます。これまで子会社で培ってきたスキル・人材を集約し、より大きなエンジンで継続的な成長を可能にする企業「100年続く企業」を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ロゴに込められた3つの「想い」

1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク（感嘆符）をかたどりました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき（新・結合=イノベーション）を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人材、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

1つは「永遠」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様寄り添う企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様寄り添っているというイメージを表現しています。社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。



株式会社クレオ

中期経営計画について

100年企業を目指して



2020年3月期目標

売上高

150 億円

営業利益

10 億円

1 グループ総合力発揮のための総改革

- ・グループ再編による新体制構築
- ・会社間の垣根を取り払い「稼ぐ力」を最大化

2 実感できる成長力強化

- ・過去最高営業利益8.8億円の更新
- ・成長を数字で実感していただけるように

3 安定的な株主還元の充実

- ・成長力強化、稼ぐ力最大化で原資を確保
- ・安定的な利益創出による増配、自己株式取得

4 コーポレートガバナンスの強化

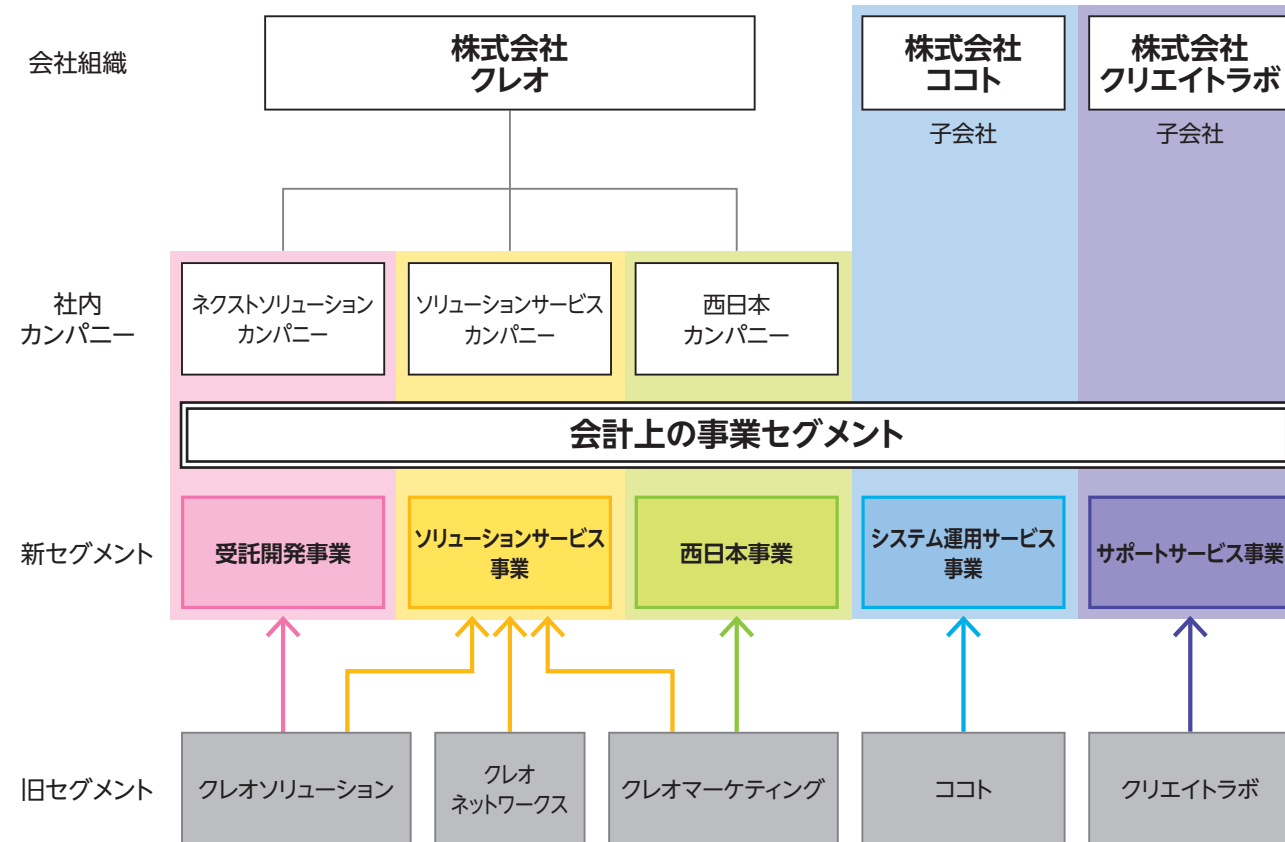
- ・攻めの経営を実現する役員人事・報酬制度創設
- ・挑戦意欲の醸成で継続的な企業価値向上へ

中期経営計画の詳細はこちらをご覧ください
<http://www.creo.co.jp/ir/plan/>



新セグメントについて

クレオグループ

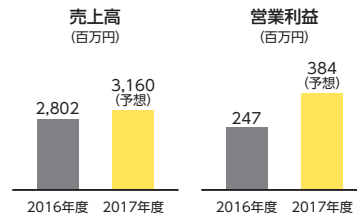


当社は2017年度を初年度とする中期経営計画の遂行にあたり、2017年4月1日に当社と連結子会社5社の合併を行い、当社グループ内の事業・組織再編を実施しました。これに伴い、事業区分を適切に表すとともに、事業再編の対象となっていない事業セグメントについてもよりわかりやすい表記とするため、事業セグメントの変更を行うことといたしました。

事業内容のご紹介

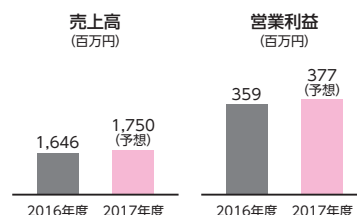
● ソリューションサービス事業

分散していた製品・サービスを集約。人事給与・会計を中心としたパッケージ製品ZeeM、ビジネスの可視化を強化する製品群の連携で顧客の付加価値創造を強力に支援。周辺課題解決のためのシステム開発サービス提供も開始し、クロスセル拡大で収益構造強化。



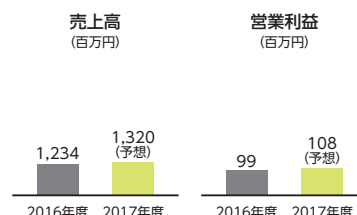
● 受託開発事業

創業以来富士通グループとのパートナーシップを堅持。官公庁、自治体向けシステム開発など社会基盤分野に強み。介護福祉分野のシステム導入、新聞組版システムの開発など他分野の実績も多数保持。ヤマトシステム開発株式会社、アマノ株式会社などの受託開発業務も担当。



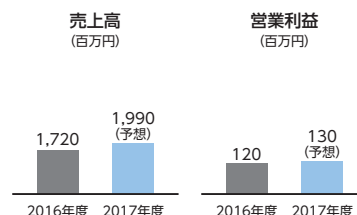
● 西日本事業

名古屋以西の顧客へ向けた課題解決サービスの提供。本社直轄化で事業展開加速。ZeeM等の自社製品の提供、組込システム開発の経験を活かした大手メーカー向け受託開発が中心。



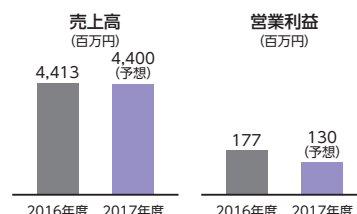
● システム運用サービス事業

国内大手ポータルサイトを主要顧客とする、システム開発・保守・運用を中心に、地方拠点にて都市部稼働に比べ低コストなアウトソーシングサービスの提供を実施。自社サービスの企画開発・運営も担う。



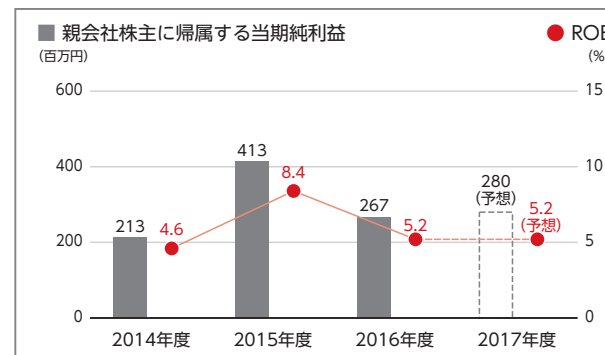
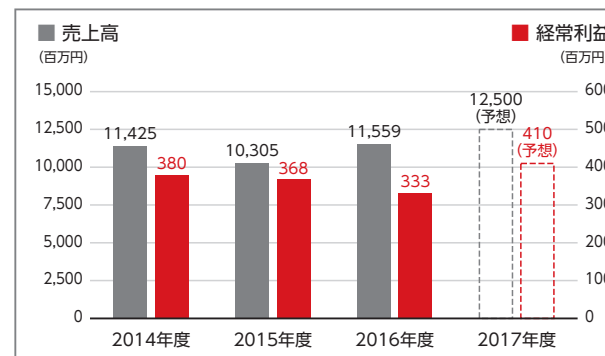
● サポートサービス事業

ヘルプデスク、テクニカルサポートを中心としたサポート&サービスおよび、社会調査、市場調査などのコールセンターサービスを提供。



前期決算の概要と今期見通し

● 財務ハイライト



● 決算のポイント

■ 前期決算の概要

新たな子会社2社が増加したことにより増収となりましたが、グループ再編に伴うオフィス移転費用の発生などにより経常利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は筆まめ事業売却による特別利益(約2億円)を計上した2015年度に比べて減少したものの、政策保有株式の売却益など特別利益の発生により減益幅は縮小しました。

■ 今期見通し

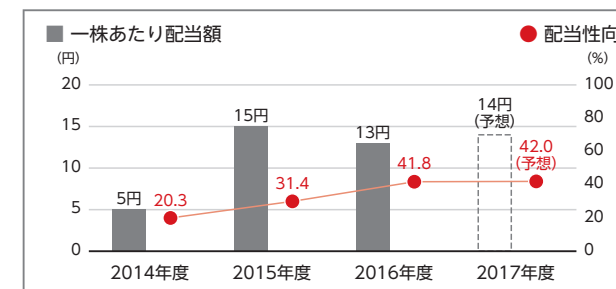
2017年4月に子会社5社の合併、グループ再編によって新たな体制で事業を展開することにより、9億4千万円の増収、7千7百万円の増益となる予想です。

ソリューションサービス事業が売上高、利益の伸びを牽引するものの、中期経営計画達成に向けた投資などの費用発生により小幅な増益に留まる見通しです。

● 配当政策

「配当性向40%」を基本方針として、安定的に利益を積み増すことで、配当額の水準を維持、向上

2014年度までは配当額「5円」維持の方針、2015年度は筆まめ事業の売却益による『特別配当 10円』を足した15円の配当を行いました。2016年度以降は「配当性向40%」を基本方針として、安定的に利益を積み増すことで配当額の水準を向上させていく方針です。



会社概要

商号	株式会社クレオ
所在地	東京都品川区東品川四丁目10番27号
役員	(平成29年6月21日現在) 代表取締役会長 阿南 祐治 代表取締役社長 柿崎 淳一 専務取締役 生駒 進 取締役 雨田 高志 取締役 大矢 俊樹 取締役 井原 邦弘 取締役 天野 宏 常勤監査役 土屋 淳一 社外監査役 宮澤 求(公認会計士) 社外監査役 渡辺 伸行(弁護士)
設立	昭和49年(1974年)3月22日
資本金	3,149,650千円
連結売上高	11,559百万円 ※平成29年(2017年)3月期末績
従業員数	連結 999人 ※平成29年3月31日現在 単体 466人 ※平成29年4月1日現在

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL http://www.creo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株式の状況

- 発行済株式総数 8,650,369株
- 株主数 1,008名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アマノ株式会社	2,645,000	31.5
ヤフー株式会社	1,100,000	13.1
クレオ従業員持株会	233,065	2.8
水元 公仁	200,000	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	178,600	2.1
江本 英雄	165,200	2.0
MSIP CLIENT SECURITIES	141,100	1.7
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	121,000	1.4
加賀美 忍	120,000	1.4
三木 美枝	117,000	1.4

(注) 持株比率は、自己株式(257,720株)を控除して計算しております。

WEBサイトのご紹介

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。

<http://www.creo.co.jp/ir/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

